高知県立檮原高等学校
同窓会通信
令和6年11月発行

高知県立檮原高等学校
同窓会事務局
〒785-0610
高知県高岡郡梼原町梼原1262
TEL (0889)65−0181
FAX (0889)65−0172

歴史と文化に包まれて90年

高知県立檮原高等学校 同窓会
会長 熊田光男

西暦913年(延喜13)、藤原経高により津野山文化がもたらされ、千有余年の長い歴史と文化に包まれて、梼原の地に育まれてきた高知県立檮原高等学校が創立90周年を迎えました。同窓会を代表して心よりお慶びを申し上げますとともに、これまで90年にわたり本校の発展のためにご尽力いただきました高知県や梼原町、津野町、教職員、PTA、地域の皆様、同窓生の皆様に対しまして深甚なる感謝と御礼を申し上げます。

檮原高校は、昭和9年(1934年)11月21日、梼原村孝山塾青年学校として開校、第1期生男子3名、女子11名でスタートされました。そして高知県立梼原農林学校、高知県立梼原農業高等学校と改称し、高等学校再編により高知県立檮原高等学校となり、現在に至っております。

以上のとおり、開校以来90年の歳月が経過し、歴史と伝統を受け継ぎ、これまで3,900名余りの卒業生を輩出してまいりました。

現在の檮原高校は生徒数激減により、一時は存続の危機に直面したこともありましたが、行政や町民をはじめ関係各位のご尽力により、危機を乗り越え、さまざまな分野で注目を浴び、校区外(県外を含む)からも多くの入学者があり、各学年2クラスで推移しており大変喜ばしい限りであります。

そして、先生方の熱心なご指導によって、それに応えて生徒の皆さんが勉学や部活に一生懸命取り組み、有意義な学園生活を送られていることに繋がっております。これもひとえに、皆様のご支援とご協力の賜物であり、このことが、この自然の中で育まれた津野山の歴史と文化、伝統という大きなバックボーンによって、魅力ある学校へと発展している、と言っても過言ではないと思います。

生徒の皆さんは、やがて母校を巣立ち社会へと羽ばたいていかれる訳ですが、世界中どこにいても「私の母校は檮原高校です。」と、胸を張って言える大人になってほしいと願っています。そしていつの日か多くの皆さんが故郷に帰って来てくれることを願っております。

檮原高校開校90周年という大きな節目を迎えられ、そして100周年へと未来永劫発展されることをお祈りしてご挨拶といたします。

ご挨拶

高知県立檮原高等学校
校長 足達昇

檮原高校の歴史は、青年学校の開校とともに始まります。時は昭和9年のことでした。爾来90年にわたり、地域の学校として、地元町村とともに歴史を刻んできました。

この90年、日本は激動の時代でした。先の大戦を経て、戦後の混乱と復興、高度経済成長と経済危機、ベビーブームと少子高齢化、そして高度情報社会等々。それぞれの社会・経済・文化などの影響は、時代によって違いはあれ、梼原の地にも少なからずあったはずです。そのような中、檮原高校は、時代の変遷を見続け、さまざまな生徒たちを育み、現在に至っています。

変化に富んだ90年間は、まさに悠久とも言えるでしょう。この学び舎で、どれだけの生徒が学び、どんな出会いと別れを重ねてきたか、思いを馳せるだけで気が遠くなる思いがします。長きにわたった檮原高校の歩みには、ただただ感嘆の念を抱くばかりです。

90周年を迎えるにあたり、歴史の重みとそれを受け継ぐことの意義を実感せざるを得ません。現有の生徒と教職員がこれからの歴史を刻み、地域がそれを支えていく、そのような営みに檮原高校の振興と発展があるのではないでしょうか。

教職員の一人として、今後の歴史をつくっていく一員であることを、誇りに思います。

高知県立檮原高等学校 創立90周年記念
90th
ANNIVERSARY

学校の沿革

昭和9年11月21日　檮原村立孝山塾青年学校開校
昭和17年1月29日　檮原村立檮原農林学校設置認可
昭和22年3月31日　高知県に移管　高知県立檮原農林学校と改称
昭和23年4月1日　学制改革により高知県立檮原農業高等学校と改称
昭和24年9月1日　高等学校再編成により高知県立檮原高等学校と改称、普通科・農業科及び別科（被服課程修業年限1ヶ年）を設置
昭和28年1月14日　校歌制定
昭和36年3月　別科（被服課程）廃止
昭和40年4月1日　農業科を農林科と改称
昭和47年3月31日　プール新設
昭和49年1月7日　格技場・部室新設
昭和49年4月1日　農林科募集停止　普通科2学級　定員60名
昭和49年8月19日　特別教室棟新築
昭和49年11月12日　創立40周年記念式典挙行　記念誌発行
昭和53年3月31日　中校舎新築
昭和54年6月27日　本館新築
昭和57年4月1日　2学級　定員90名
昭和59年11月21日　創立50周年記念式典挙行　記念誌発行
平成3年4月1日　2学級　定員80名
平成3年8月31日　檮原ディスカバークラブ　東京国立劇場公演
平成5年3月26日　運動場整備　全天候型テニスコート完成
平成6年11月5日　創立60周年記念式典挙行　記念誌発行
平成7年1月21日　檮原ディスカバークラブ第2回高新大賞受賞
平成8年4月1日　中高連携教育推進事業指定
平成13年4月1日　中高一貫教育校（連携型）開設
平成14年6月9日　中国大連外国語大学漢学院と協定締結
平成15年8月1日　家庭クラブ　文部科学大臣賞・クラブ員奨励賞特別賞
平成16年11月21日　創立70周年記念式典挙行　記念誌発行
平成19年4月　硬式野球部創部
平成21年9月21日　リトアニアへ研修団派遣
平成23年8月1日　家庭クラブ　文部科学大臣賞・クラブ員奨励賞特別賞
平成23年10月24日　屋内体育館耐震補強工事完成
平成26年2月5日　本館耐震補強工事完成
平成26年2月10日　マレーシアへ研修団派遣
平成26年11月22日　創立80周年記念式典挙行　記念誌発行
平成27年2月7日　マレーシアへ研修団派遣
平成28年3月10日　中校舎及び特別教室棟耐震補強工事完成
平成29年2月3日　オーストラリアへ研修団派遣
平成29年3月25日　渡り廊下改築及び中校舎・特別教室棟改修工事完成
平成29年7月26日　第99回全国高等学校野球選手権高知県大会準優勝
平成30年2月1日　オーストラリアへ研修団派遣
令和2年1月25日　総合的な学習／探求の時間　PR班　観光甲子園全国大会出場
令和4年2月6日　総合的な学習／探求の時間　PR班　観光甲子園SDGs修学旅行部門グランプリ受賞

History of Yusuhara High School

10年の歩み（平成26年度～令和5年度）

平成26年度

- 長期留学制度創設
- アーチェリー部インターハイ出場
- 硬式野球部高校選手権高知県大会ベスト8
- ディスカバークラブ全国高等学校総合文化祭出場
- 創立80周年記念式典
  記念講演会「青春・椿原高校!!」熊田光男 氏

平成27年度

- アーチェリー部インターハイ出場
- 陸上競技部四国大会出場
- ディスカバークラブ神楽甲子園出場
- 少年国際交流全校フォーラム参加
- 家庭クラブ商品開発
  「混ぜご飯の素ゆすはらめし」販売
- 開校記念講演会
  「世界を巡って５００回～地球は案外狭かった～」
  二宮　健 氏

平成28年度

- 孝山寮、越知面寮２寮体制運用
- オーストラリア研修
- アーチェリー部インターハイ出場
- 硬式テニス部四国大会出場
- ディスカバークラブ神楽甲子園出場
- 家庭クラブ「混ぜご飯ゆすはら召し」コラボ
- 開校記念公演会
  「椿原から世界へ 音楽でつなぐ」大村太一郎 氏

平成29年度

- 硬式野球部高校選手権高知県大会準優勝
- 開校記念講演会
  「みんないい子～読書が育む夢、物語が結ぶ縁～」
  中脇初枝 氏

平成30年度

- 遠隔教育システム導入、タブレット端末導入
- アーチェリー部インターハイ出場
- 陸上競技部四国大会出場
- 第８回よさこいカップ（英語ディベート大会）優勝
- ディスカバークラブ第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～「天の岩戸」演舞
- 開校記念講演会
  「龍馬の先を駆けた男～吉村虎太郎と津野山の仲間たち～」熊田光男 氏

平成31年度・令和元年度

- アーチェリー部インターハイ出場
- ディスカバークラブ２０２０こうち総文プレ大会参加
- 観光甲子園決勝大会出場
- 椿原産ジビエ製品「イノシシ革キーホルダー」販売
- 開校記念講演会
  「これからのために、高校生の今、考え、なすべきこと」福田直史 氏

令和2年度

- 新型コロナウイルス感染症流行による休校措置等
- 「地域みらい留学」事業参加
- ディスカバークラブ全国高等学校総合文化祭出場（高知県Ｗｅｂ開催）
- 音楽部アンサンブルコンテスト西部地区銀賞受賞

令和3年度

- 椿原町生涯学習交流センター「ゆすゆす」運営開始
- キャリア教育優良校文部科学大臣表彰受賞
- アーチェリー部インターハイ出場
- 音楽部アンサンブルコンテスト西部地区銀賞受賞
- 観光甲子園ＳＤＧｓ修学旅行部門グランプリ受賞
  「君を今一度せんたくいたし申候！」
- 開校記念講演会
  「吉村虎太郎について」熊田光男 氏

令和4年度

- 国内留学研修（語学研修）
- アーチェリー部インターハイ出場
- 音楽部軽音部スクールロックコンテストＥＳＰ特別賞受賞
- 開校記念講演会
  「狂言の立ち居振る舞いに見られる日本の心」
  三宅藤九郎 氏

令和5年度

- 国内留学研修
- アーチェリー部インターハイ出場
- ディスカバークラブ神楽甲子園出場
- 開校記念公演会
  「音楽家への道、夢を実現するための挑戦と喜び」
  澤 和樹 氏

高等学校、梼原町

3A 下村悠馬

10年後の自分は檮原高校、梼原町とはあまり深く関わってないかもしれません。

高校卒業後の進路で県外に行き、将来は九州の方で畜産関係の仕事をしたいと考えているので梼原町に帰ることが少なくなると思います。

けれどもこれまで梼原で過ごしてきた思い出や学びを大切にして10年後も過ごしていると思います。また、梼原町は高齢者の方が多くいるので梼原町の人口がどんどん減っていると考えられます。そして人口を維持したり増やす方法を役場の方々は考え実行していると思います。梼原町の自然や街の風景は変わらず、隈研吾さんの設計した建物を見に海外の観光客の方が多く来ていると思います。自分は梼原町出身なので長い休みに帰省するたびに、友達と再会することで、高校生活の思い出を振り返りながら梼原との関わりを少しでも大切にしたいと考えています。

梼原町との関わりが少なくなっても、心の中では常に故郷として大切にして10年後も過ごしていきたいと考えています。

3A 下川　楽

10年後の私と梼原町について考えると、様々な可能性が広がります。私は梼原町と高校野球の関わりが重要な要素になると考えます。梼原町は自然豊かな地域であり、地域のスポーツ文化が根付いています。特に高校野球は、日本の夏の風物詩として多くの人々に愛されており、地域の絆を深める大切なイベントです。私が10年後にこの町でどのように高校野球と関わっているか想像してみます。

まず、檮原高校野球部の応援をしている自分を思い描きます。地元の高校が甲子園を目指して戦う姿は、地域全体を盛り上げる大きなイベントです。試合の日には、地元の人々が一丸となって応援し、選手たちの頑張りを支える姿が見られるでしょう。私もその一員として、応援の声を上げ、地域の人々と共に感動を分かち合うことができると思います。

また、高校野球を通じて地域の子どもたちにスポーツの楽しさやチームワークの大切さを伝える活動にも関わっているかもしれません。檮原高校野球部と連携し、野球教室や体験イベントを開催することで、子どもたちがスポーツに親しむ機会を提供することができるでしょう。

特に、地域の若者たちが夢を持ち、努力する姿を見守ることは、私自身にとっても大きな喜びとなるはずです。さらに、高校野球の試合を通じて地域振興にも貢献できるかもしれません。梼原町で開催される高校野球の試合や野球部員が地域の方々に元気に挨拶する姿が地域に元気を与え、檮原高校野球部が目指す「地域と共にある野球部」になっていき梼原町が活気にあふれると考えます。

10年後の私と樗原

3B 花田未郷

今、私の住んでいる所は自然が豊かな街です。広がる田んぼやセラピーロードで自然を感じることができる、家族や友人との温かい思い出が詰まった場所です。樗原高校での生活も、地域の方々が支え、温かく見守って下さる、心温かい町です。しかし、近年は少子高齢化が進み、商店街も少しずつ閉じていく現実を目の当たりにしています。私は、そんな故郷が10年後にどのように変わっていくのか、考えてみました。

10年後、私の故郷は大きく変貌しているかもしれません。新しいテクノロジーの導入によって、農業が自動化され、生産効率が大幅に向上している可能性があります。特に、高齢化が進んでいる故郷においては、この効率化が高齢者の負担を軽減し、少ない労働力でも地域の農業を維持することができるかもしれません。さらに、スマート農業やIT技術の導入によって、故郷には新たな仕事の機会が生まれ、若者が地元に戻ってくるきっかけになるかもしれません。こうしたテクノロジーの進展が、地方創生の取り組みとして様々な企業を呼び込み、町全体が活性化していく様子を想像します。その一方で、自然の美しさはそのまま保たれ、観光業もより活性化してほしいと思います。

私はその未来において、データサイエンティストとして地元の発展に貢献している自分を思い描きます。地元の農業をさらに効率化し、観光業を支えるデータ分析を行うことで、地域の発展に携わりたいと考えています。

10年後、樗原は少しずつ変わっているかもしれませんが、その変化の中で自分自身も成長していきたいです。そして、樗原に恩返しできる存在でもありたいと思っています。最後に、未来の樗原で過ごす日々が、今以上に豊かで幸せなものであることを願っています。

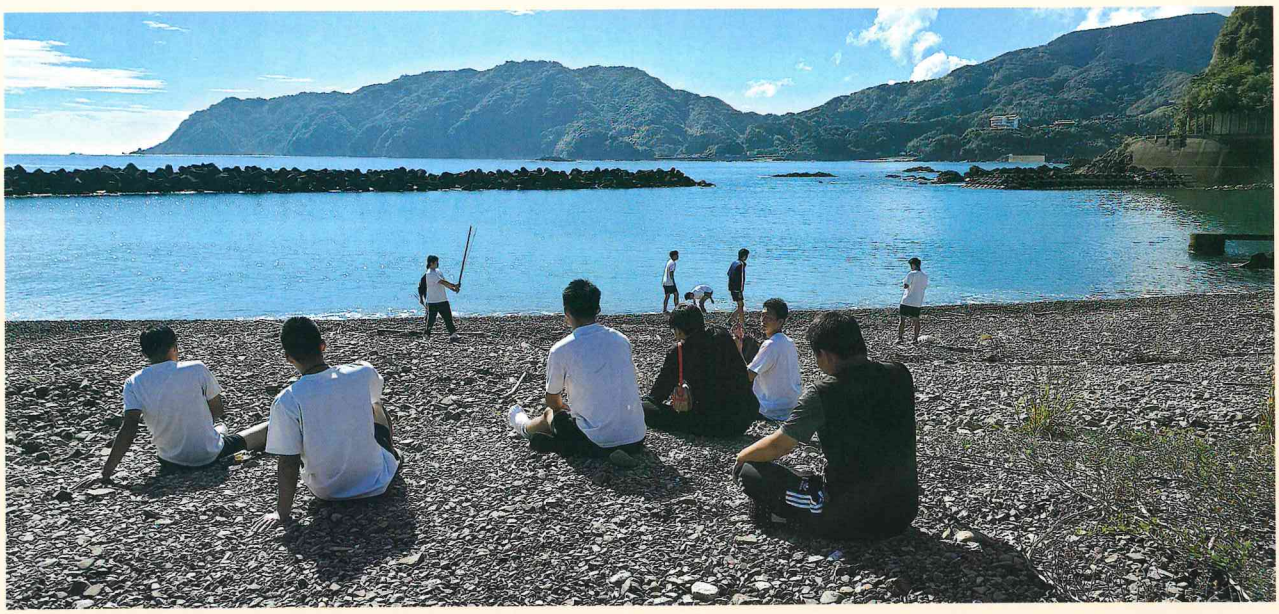
3B 田中 暁

私は、地元の室戸高校が春の甲子園でベスト8まで勝ち進んだ際に監督を務めていた横川恒雄さんを追いかけ、ここ樗原町に一人できました。

私は樗原町に来て情に厚い人に囲まれ、とても息がしやすい町だと感じました。寮も新しく、グラウンドもきれいでゲージやバッティングマシーンなどの設備、さらにはバスなどの環境を町の方々が整えて下さっていることに、自分の子どもでもない、他の地域さらには県外から来ている子に尽力してくださることを不思議に思いながらも、その温かさに感動しました。樗原に来て学んだことは、これらの経験から感謝の気持ちを忘れてはいけないということです。そして感謝の気持ちが持てず、雑な環境の使い方をすれば、この関係性は一気に崩れてしまうと思います。

私は将来、大学に進学して社会学をベースとした地域社会の課題や構造、さらに歴史や文化について学び、地元である室戸市の地域おこしに尽力したいと考えています。10年後の私を想像したときに、基盤となるのは樗原町で生活したという経験だと思っています。これから人口が減っていく中で、地域の住民がどう地元を支えていくかが重要になってくると思います。樗原町では地域のつながりが非常に強く、コミュニティ全体で協力し合う文化が根付いていると身をもって感じました。感謝の気持ちから生まれる助け合いの精神には、私自身とても惹かれました。

これからの10年で私たちは現代社会における様々な課題に直面していくと思います。それを解決しようと必死になっていくうちに見失いがちな大切な価値観や考え方は樗原にはたくさん詰まっていると考えます。またその考えや価値観こそが自分の地元や、社会全体が抱える課題を解決に導く足掛かりになると私は樗原で実感しました。



私が知っている

2A 上田楽々

私が知っている檮原高校の魅力は、いろいろな活動に取り組んでいることだと思います。

例えば、毎週水曜日にある総合的な探究の時間です。地域の伝統である神楽や千枚田の保護活動などに取り組んでいます。神楽では大会で京都や広島に行くなど幅広く活動しています。

また、過疎高齢化によって存続が難しくなっている千枚田を守り続けるために田植えや稲刈りをしています。そして、地域の伝統だけではなく、地域活性化のためにSNSで発信したり、地域の食材など特産品を生かした商品づくりをしたりして、梼原町外の人たちにも梼原について知ってもらうために活動しています。総合的な探究の時間以外にも地域の行事、イベントのボランティアにも生徒全員で取り組んでいます。

これらのように、地域のために活動を行っていることが檮原高校の魅力だと思います。

2A 中越青空

檮原高校は地域との関わりがとても深いです。例えば総合的な探究の時間の授業では、地域の人などと実際に関わり、梼原の新たな魅力を見つけたり、地元で取れた野菜やジビエなどを使いピザなどを作る活動を行っています。私はディスカバークラブに参加していて、地域の人から神楽を教わり神楽を継承しています。

また、少しでも多くの人に教わった神楽を知ってもらうためにも毎年広島で行われる神楽甲子園や、12月に京都での伝統文化フェスティバルに参加するなど舞台の上でお客さんに神楽を披露しています。神楽の魅力だけでなく、神楽を通して梼原という町を知ってくれる人を増やして梼原に人を呼び込み、地域おこしに少しでも役立ちたいと活動しています。

このことから、私が思う檮原高校の魅力は授業などでの地域との関わりを通して、いろんな活動に積極的に取り組めることだと思います。

2A 山田未来

私の思う檮原高校の魅力は行事です。

体育祭と文化祭が分かれているため、一つのことに全力になれるところがとても良いと感じました。

遠足では他学年と交流するために、学年関係なくチームを組み、協力して生徒会が考えてくれたゲームに取り組みました。ここで話したことのない人と仲良くなれました。

球技大会では、生徒全体で行うため、学年の隔てがありません。勝ち上がり戦なので白熱してとても楽しかったです。先生方も一緒に楽しんでいるので、学校全体が盛り上がっている感じがして嬉しかったです。

檮原高校の行事は、他学年と交わる事が多いのが大きな魅力です。このような行事をこれからも続けたいと思います。残りの高校生活も楽しんでいきたいです。

檮原高等学校の魅力

2B 小沢将慶

僕が思う檮原高校の魅力は、先生との距離がとても近いことです。そのおかげでいつも僕は先生に簡単に質問することができたり、教えてもらったりすることができています。また、先輩たちにも声をかけやすいので日常生活でわからないことを聞けたり、行事のときに協力したりできてとても楽しく過ごせています。

２つ目は、総合的な探究の時間です。縦割りでは、地域の伝統文化の津野山神楽や地域や学校のPR活動、食料廃棄物問題解決のためにどうするか考えるフードエコロジーなどのグループがあり、全校生徒で取り組みます。

特に、津野山神楽と環境保全活動では、地域の方たちと関わる機会があり、その場の声を聞くことができます。また、全校生徒で取り組むことは、他にはない活動だと思うのでとても魅力だと思います。他にもたくさんの魅力があるのでとてもいい高校だと思います。

2B 上川大智

僕の思う檮原高校の魅力は２つあります。

１つ目は、地域と関わる事のできる機会が多いことだと思います。例を挙げると、総合的な探究の時間の文化グループの神楽や農業コースの取り組み、ボランティア活動などです。地域の取り組みなどに参加できたり、自分たちで取り組んだことを町に返したりと、いろんなふれあい方ができていると思います。ボランティア活動では梼原町に限らず他の地域の方とも関われて他ではあまりできない良い機会になっていると思います。

２つ目は、生徒と先生の距離が近いことです。堅苦しくなく、みんなが積極的に先生方と関われていると思います。檮原高校は若い先生が多いこともあって同じ目線で話をしてくれるので、生徒からしてもとてもいい環境になっていると思います。また、生徒数が少ないこともあって生徒同士、先生同士でも親睦を深めることができると思います。

2B 佐伯　光

私の知る檮原高校の魅力は主に２つあります。それは学校の近くに寮があることと、学校の先生方が生徒に対し親身になって対応してくれるところです。

寮は一般女子、一般男子、野球部で棟が分かれており、築５年で新しくきれいです。また、寮生同士の仲も良く、先輩と同じ部屋になったとしても、楽しい寮生活を送ることができました。授業では、生徒が分からないようなところを、時間をかけてしっかりと解説してくれ、休み時間や放課後に分からないところを聞きに行けば、各教科の先生が快く対応してくれます。

また、進路関係では、生徒一人ひとりにあった進路を一緒に考えてくれ、進路を実現するためのサポートをしてくれます。最初は不安だったけれどクラスメイトにも恵まれ、楽しい学校生活を送ることができています。

学校と私

1A 明山翔空

僕は中学校の監督に紹介され、一度檮原高校を見に行ってみて、とても設備が整っていて野球に集中することができると感じ進学を決めました。梼原に来て、とても地域の人と近いと感じました。挨拶をすると挨拶を返してくれます。

また、野球部はいろいろな支援を受けていることも知りました。地域の人に支えられて野球に集中して取り組むことが出来ています。

1A 糸井柊子

私が檮原高校に進学を決めた理由は、勉強が苦手な自分でも、手厚くサポートをしてくれる檮原高校の先生方となら頑張ることができると思ったからです。そして実際に入学して、その考えは間違っていなかったと思えました。

先生方は、真剣に取り組んでいる生徒には惜しみない協力をしてくれます。入学して間もない私も、既にたくさんお世話になっています。実際の評価は自分次第ですが、私は檮原高校に入学できてよかったと思います。

1A 上田咲来

私が檮原高校へ入学を決めた理由は、暖かく、生徒と先生の仲が良いという環境の中で勉強

1B 荒木満希

私が檮原高校を選んだ理由はこの高校でなら充実した環境で野球ができると思ったからです。実際入学した感想は思っていた以上の野球ができています。そして、檮原の寮にはトレーニング室があり、そこで練習していると徐々に体力や筋力がついてきて打球が飛ぶようになってきました。入学後は野球部のみんなと部活と勉強の両立を頑張っています。

1B 安藤かれん

私が檮原高校に進学を決めた理由は、檮原高校には音楽部があり中学から所属していた軽音楽を続けられ、高知県の高校の中では珍しいアーチェリー部があり、また、総合的な探究の授業では伝統文化である津野山神楽の練習を通して横笛の練習ができる環境が揃っていたからです。

入学してからは、地元の同級生ともすぐ仲良くなり、楽しい高校生活を送ることができています。授業中は活動的な内容も多く、毎日自然に囲まれて美味しい空気を吸いながら登下校でき、教室の窓からは、私の地元のような建物がびっしり並んだ景色ではなく、綺麗な緑の山々と青空を眺めることができるのでメンタル的にも落ち着いて過ごせています。

1B 岩村成海

檮原高校に進学を決めた大きな理由は、街が一体となり硬式野球部の活動が盛んに行われていて、マネージャとして関わりたいと思ったことや、自然に囲まれた環境で部活動や勉強に励めることです。市内などと比べると梼原町は施設なども町民との関わりが深く、図書館や保育園などの施設とも密着していて町民同士のコミュニティも多く仲が良いことが印象的でした。

一年生の活動として、今年は梼原町内の風景を写真に撮り、ポーランドのコルチャック高校に送るなど、交流をしています。今後も深めていきたいと思います。

1B 片田宇奏

僕がこの高校を選んだ理由は、２つあります。１つ目は、野球をする環境がとても整っているからです。野球部に入部をし、好成績を残せるように頑張りたいと思いました。２つ目は、兄が檮原高校のＯＢで憧れを抱いたからです。兄がこの学校で野球をしている姿を見て、自分もここでプレーしたいなと思いました。

僕は高校で出会った今のチームメイトと一つでも多く勝ち星をつけられるよう頑張っていきたいです。

を頑張りたいと思ったからです。

実際に入学してみると、本当に先生と生徒、さらには先輩と後輩の仲もよく、明るい学校で、勉強のやる気を出させてくれる先生もいるため、とても良い学校だなと感じています。そのため、これからも自分の目標に向けて頑張っていきたいと思います。

1A 高橋星依来

私が樗原高校に進学した理由は、「留学制度」にとても魅力を感じたからです。樗原は地域が一体となって留学制度に力を入れていて、先生方も慎重に迅速に私達の要望になるべく答えようと動いてくれます。

実際に留学の意志を明確にしていくうちに、不安になることや辛い現実にぶつかることもたくさんありますが、留学を叶えるために先生や友人、家族、地域の方と協力しながら頑張ろうと思えるとてもいい環境です。

1A 津野真優斗

僕が樗原高校に進学した理由は、地域の伝統文化である津野山神楽を高校でも続けたいと思ったからです。高校では神楽の大会や発表する機会がたくさんあるので大会で良い結果が残せるように日々の練習に取り組んでいます。

また卒業後は消防士として樗原で働きたいと思っているので日々の学習や体力づくりを今のうちからしっかりして夢の実現ができるように頑張りたいです。

1A 服部満月

樗原高校に入学して三ヵ月がたちました。入学する前は、自分の知らない土地で生活することや全く知らない人たちと生活することがとても不安でしたが、今は温かく優しい樗原町の皆さんに囲まれ、のどかで豊かな自然のある樗原で生活できていることをすごく幸せに感じています。

私は自然が豊かで小規模な場所でのびのびとした高校生活を送りたいと思っていましたし、小さい頃からの夢でもある留学のサポートをしてくれる樗原高校で自分の夢を叶えていきたいと思っています。

樗原高等

1B 本庄葵成

僕がこの高校を選んだ理由は、僕の中学の時にいたチームで樗原高校野球部について紹介されたからです。そこでお話を聞いて、オープンスクールに参加しました。体験授業がとてもおもしろく、野球部の体験にも参加し、グラウンドなど野球環境がとてもよかったのが印象に残っています。それと寮がとてもきれいで寮生活もしたかったという気持ちがあったので、それも含めて樗原高校に決めて受験勉強を始めました。受験本番はとても緊張しましたが、それまでやってきたことを思い出して精一杯頑張りました。

1B 前田理功

自分が樗原高校に入学を決めた理由は、親から離れて生活することで自立できると思ったからです。生活習慣を整えて共同生活をすることで色々なことを身につけることができると思ったからです。感想としては今まであまりやらなかったことをやることで大変さなどが分かりました。これからもこのように生活習慣を整えていきたいと思います。

自分と地域との関わりは挨拶です。地域の人が歩いていると挨拶をすることを心がけています。その他に地域の人との関わりがまだあまりないので、これからも挨拶や世間話をして地域の人との関わりを深めたいと思いました。

樗原の地域の人達はきさくで話しやすい方たちが多くて見習いたいなと思いました。これからは樗原にいる時だけではなく帰省しても人と関わりたいです。

2024

神楽甲子園

檮原町のPR動画を作成中!

野球部
夏の大会

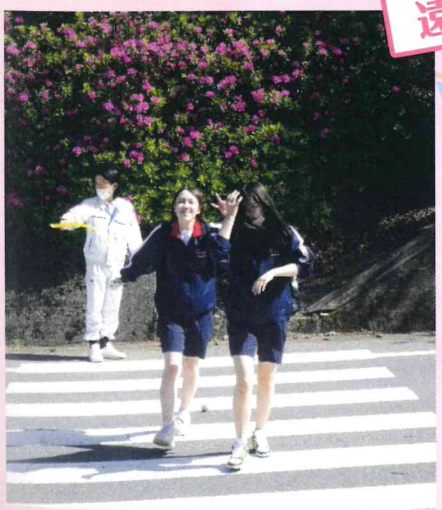
ディスカバークラブ

アーチェリー部(四国大会)

CHOOL PHOTO BOOK

2023

遠足



寮 ゆすゆす

クリスマス会

女子バスケットボール部

男子バスケットボール部

コルチャック高交流活動

音楽部(軽音)

陸上部

全力疾走

消費期限のコウメ太夫

体育祭

テニス部

YUSUHARA HIGH SC

雪の日

文化祭

国内留学

ホームデー

球技大会

2022

農業コース実習

ホームデー

脱藩マラソン（ボランティア）

YUSUHARA HIGH SCHOOL PHOTO BOOK

2021

球技大会

マラソン大会

遠足

観光甲子園2021 決勝大会

令和6年度 檮原高等学校同窓会役員

会長　熊田　光男
副会長　西村　信明
副会長　竹﨑美栄子
副会長　足達　昇（校長）
庶務　宗光　耕平（教頭）
庶務　柳川佳史子（主幹教諭）
庶務　西川　知良（総務部）
会計　道塚　美穂（事務長）
理事　玉川　豊
理事　下元　善一
理事　二宮　健志
理事　中越　智亮
理事　森山　学
理事　戸梶　拓海
監査　上田　知子
監査　木谷　克仁

＊なお、今期役員は、11月21日実施の同窓会総会において改選されます。

事務局より

この通信は、檮原高校、檮原町・津野町役場、檮原町地域活力センター（ゆすはら・夢・未来館）、JA、高知銀行支店、檮原病院に置かせてもらっています。ご自由にお取りください。

同窓会総会のお知らせ

今年度の開校記念日、令和６年11月21日（木）は本校創立90周年にあたることから、総会後の懇親会は在校生の保護者等の方々にもお声がけし、お祝いの場を計画しました。

本校の同窓会総会は、隔年実施でおこなっておりますので、次回総会は令和８年度の開催となります。日時・場所については現在未定ですが、開校記念日近辺での開催を予定しております。

次回も多数の皆さまのご参加をよろしくお願いいたします。